

6年 校内研究 「やまなし」

宮沢賢治さんが書いた文学作品「やまなし」。子供たちの初読の感想では、「内容がよく分からない」「筆者は何を伝えたいのだろう」「クラムボンとは何か」などたくさんの疑問が出ました。そこで、子供たちと解読したい内容を考え、学習計画も一緒にたてました。

大課題「宮沢賢治さんは、やまなしを通して何を伝えたかったのか」を解読するために、少人数グループでICT機器（ロイロノート）を使い、じっくり話し合い、全体で各グループの考えを共有し、最後には、自分の考えをまとめていきました。

研究授業当日は、「十二月の幻灯を通して、筆者の伝えたかったことを解読しよう」というめあてでした。子供たちは、よく分からないからこそ、叙述や筆者の生き方、考え方をもとに、友達と考えを出し合い、一生懸命話し合っていました。授業の終わりには、全員が自分の考えをしっかりとつことができました。

